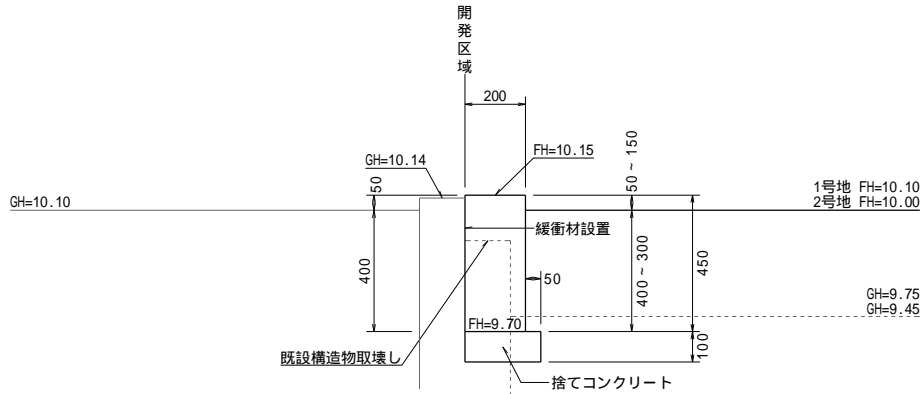
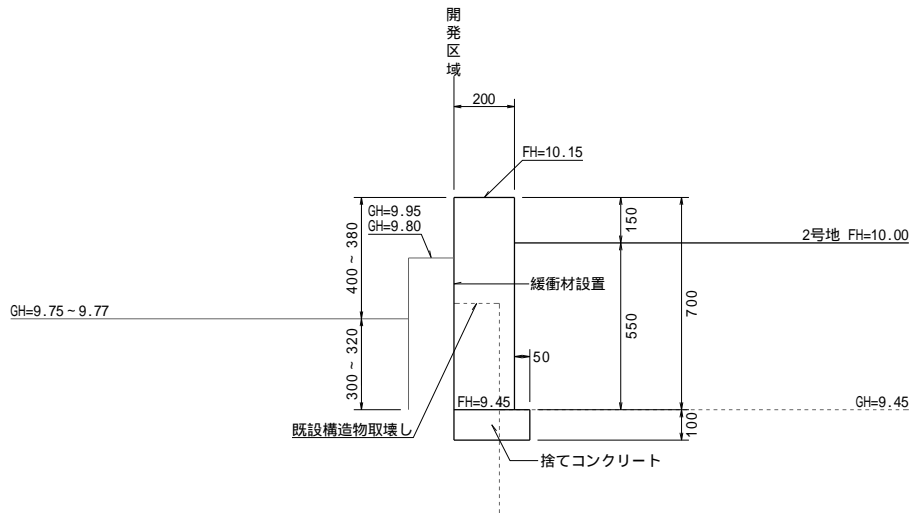


### 境界コンクリート



### 境界コンクリート



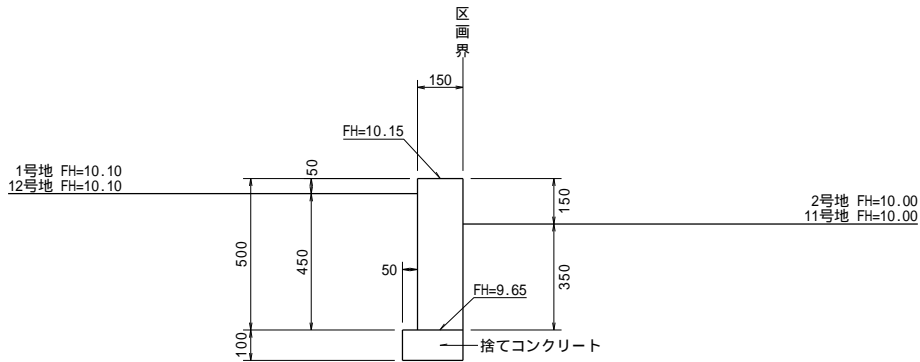
#### 設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m<sup>2</sup>)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
  - 無筋コンクリート・・・18N/mm<sup>2</sup>
  - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm<sup>2</sup>
  - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

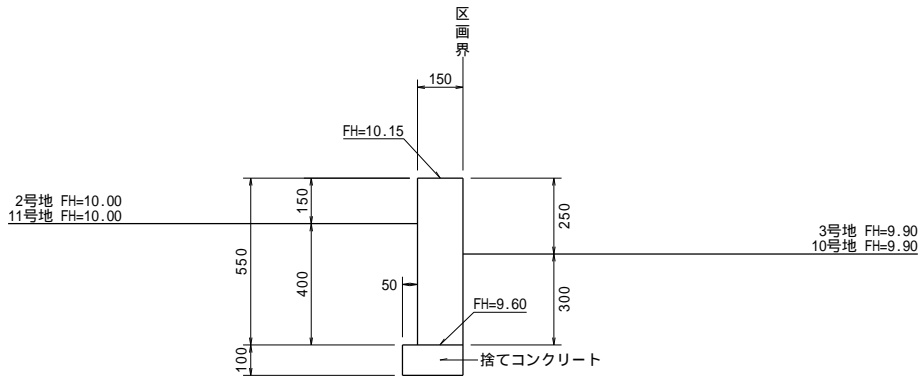
図面名	構造図(境界コンクリート)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年6月23日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



### 境界コンクリート



### 境界コンクリート

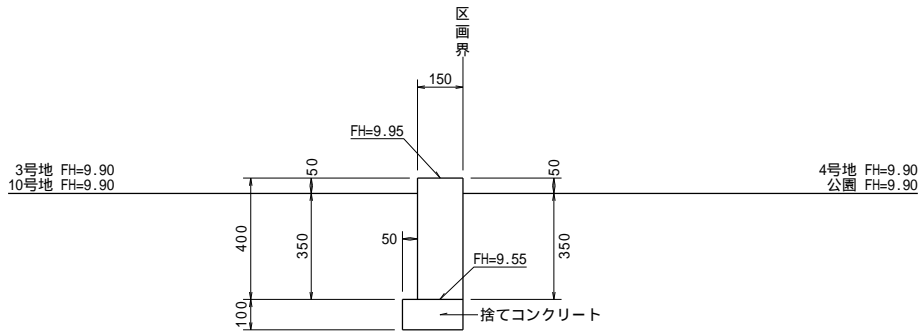


#### 設計条件

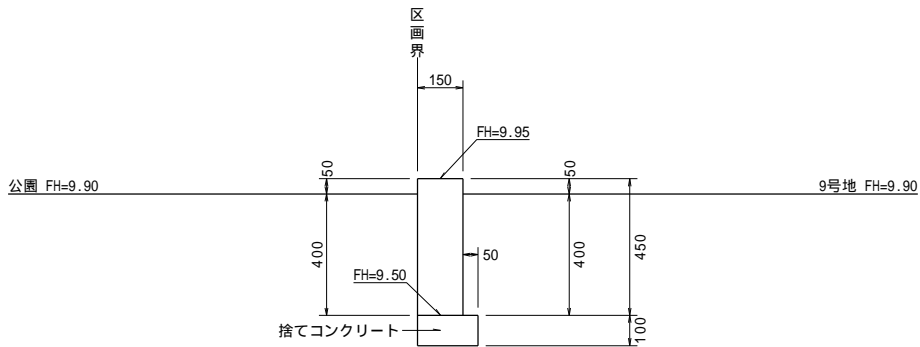
- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m<sup>2</sup>)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
  - 無筋コンクリート・・・18N/mm<sup>2</sup>
  - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm<sup>2</sup>
  - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(境界コンクリート)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年6月23日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

### 境界コンクリート



### 境界コンクリート

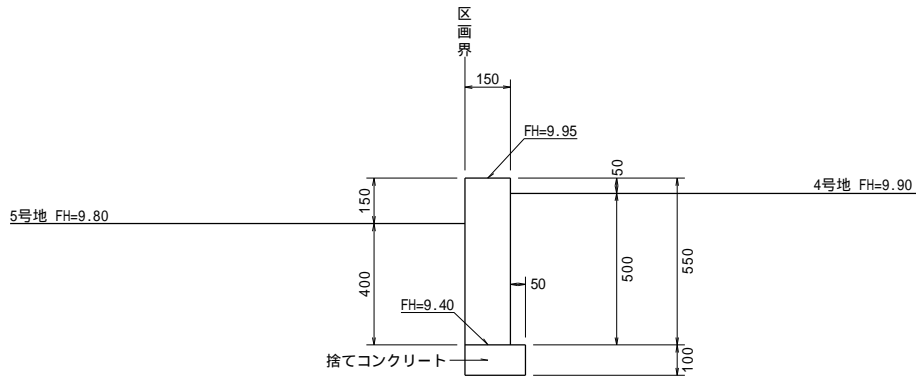


#### 設計条件

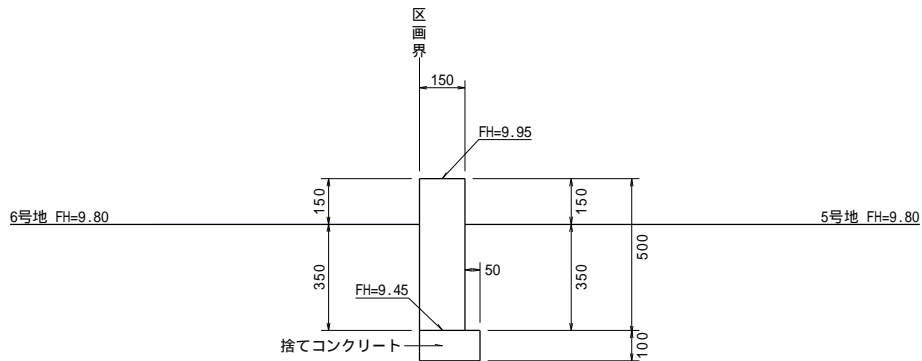
- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m<sup>2</sup>)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
  - 無筋コンクリート・・・18N/mm<sup>2</sup>
  - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm<sup>2</sup>
  - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(境界コンクリート)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年6月23日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

### 境界コンクリート



### 境界コンクリート

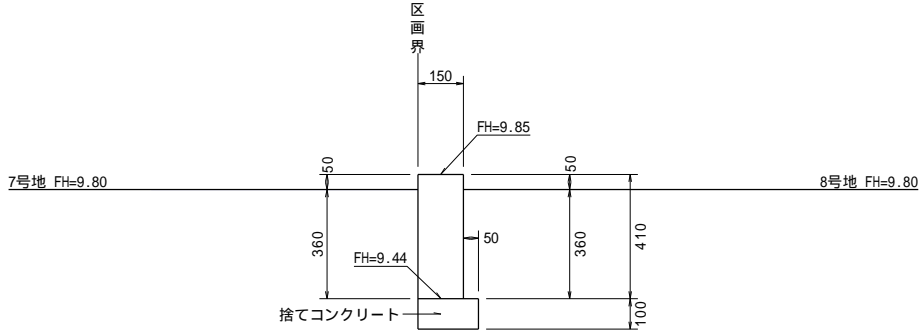


#### 設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m<sup>2</sup>)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
  - 無筋コンクリート・・・18N/mm<sup>2</sup>
  - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm<sup>2</sup>
  - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(境界コンクリート)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年6月23日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

# 境界コンクリート

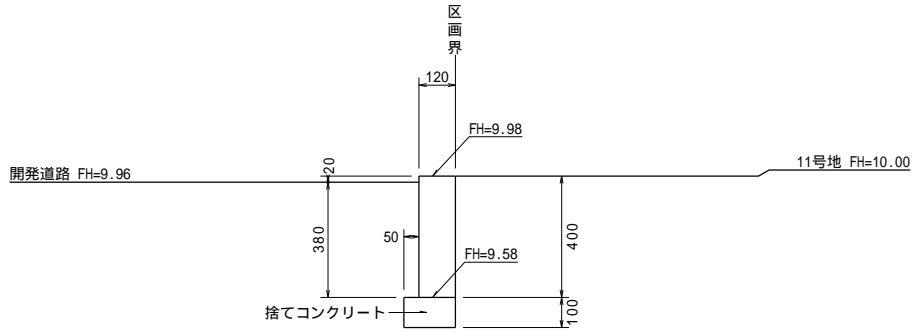


## 設計条件

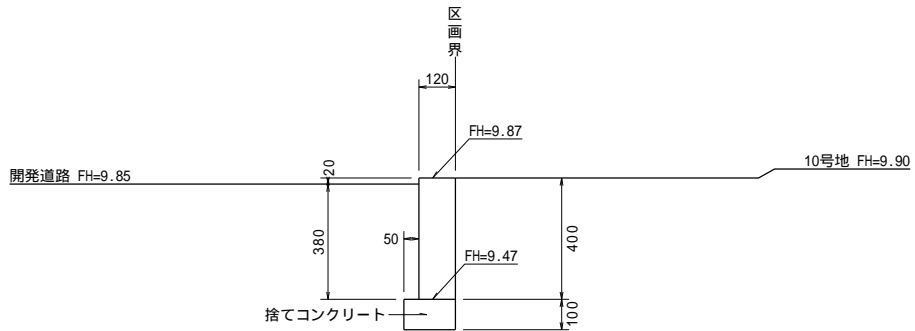
- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m<sup>2</sup>)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
  - 無筋コンクリート・・・18N/mm<sup>2</sup>
  - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm<sup>2</sup>
  - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(境界コンクリート)
縮尺	1:25
作成年月日	令和7年6月23日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

### 境界コンクリート



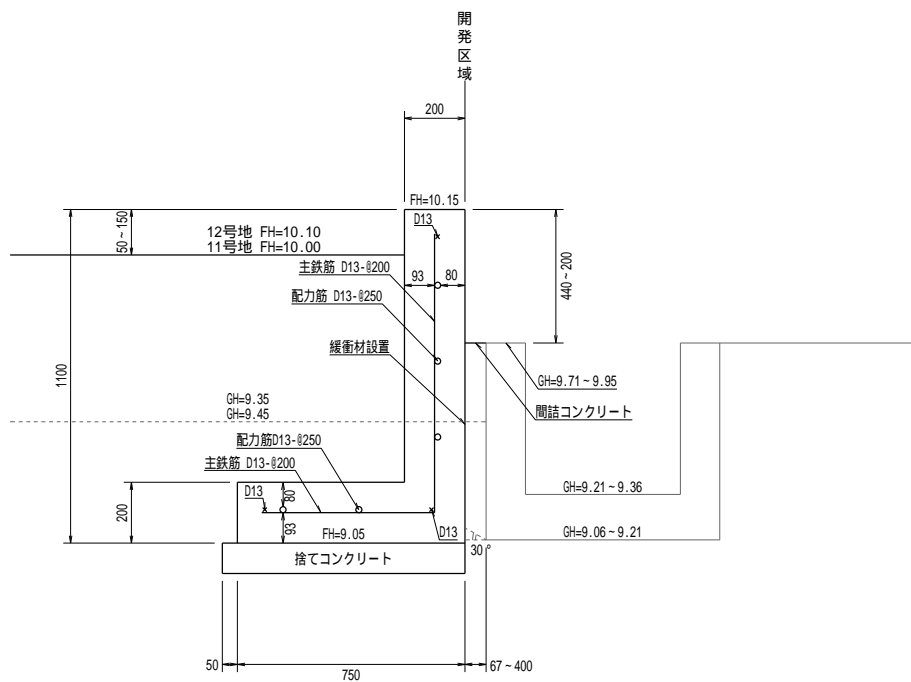
### 境界コンクリート



#### 設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m<sup>2</sup>)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
  - 無筋コンクリート・・・18N/mm<sup>2</sup>
  - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm<sup>2</sup>
  - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

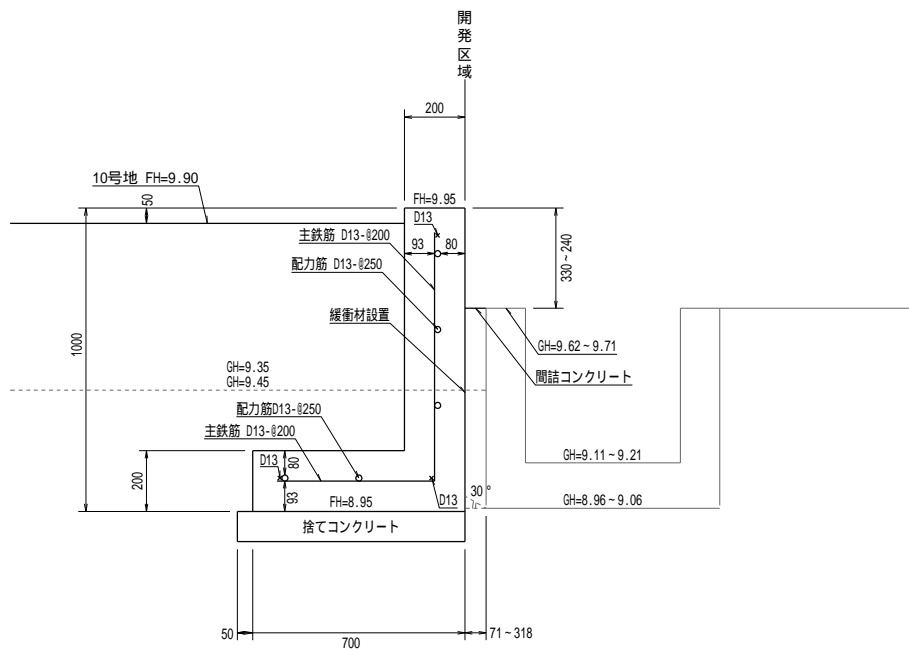
図面名	構造図(境界コンクリート)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年6月23日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m<sup>2</sup>)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
  - 無筋コンクリート・・・18N/mm<sup>2</sup>
  - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm<sup>2</sup>
  - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

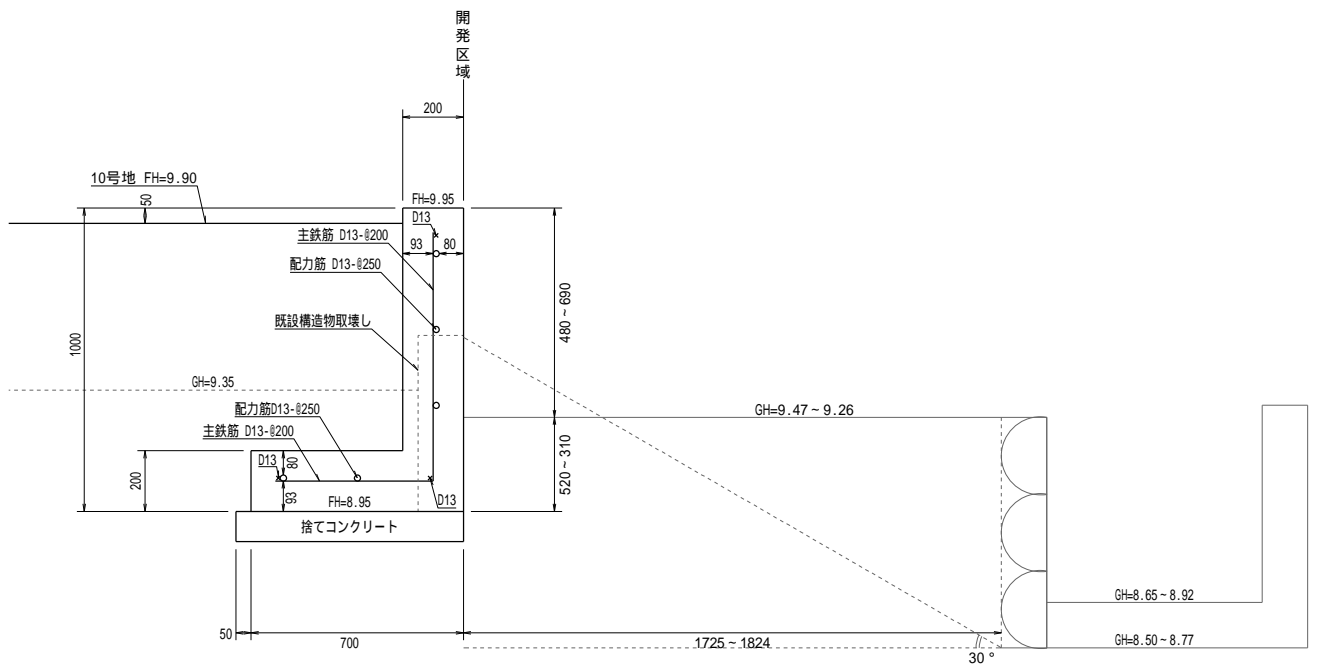
図面名	構造図(L型擁壁)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年6月23日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m<sup>2</sup>)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
  - 無筋コンクリート・・・18N/mm<sup>2</sup>
  - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm<sup>2</sup>
  - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

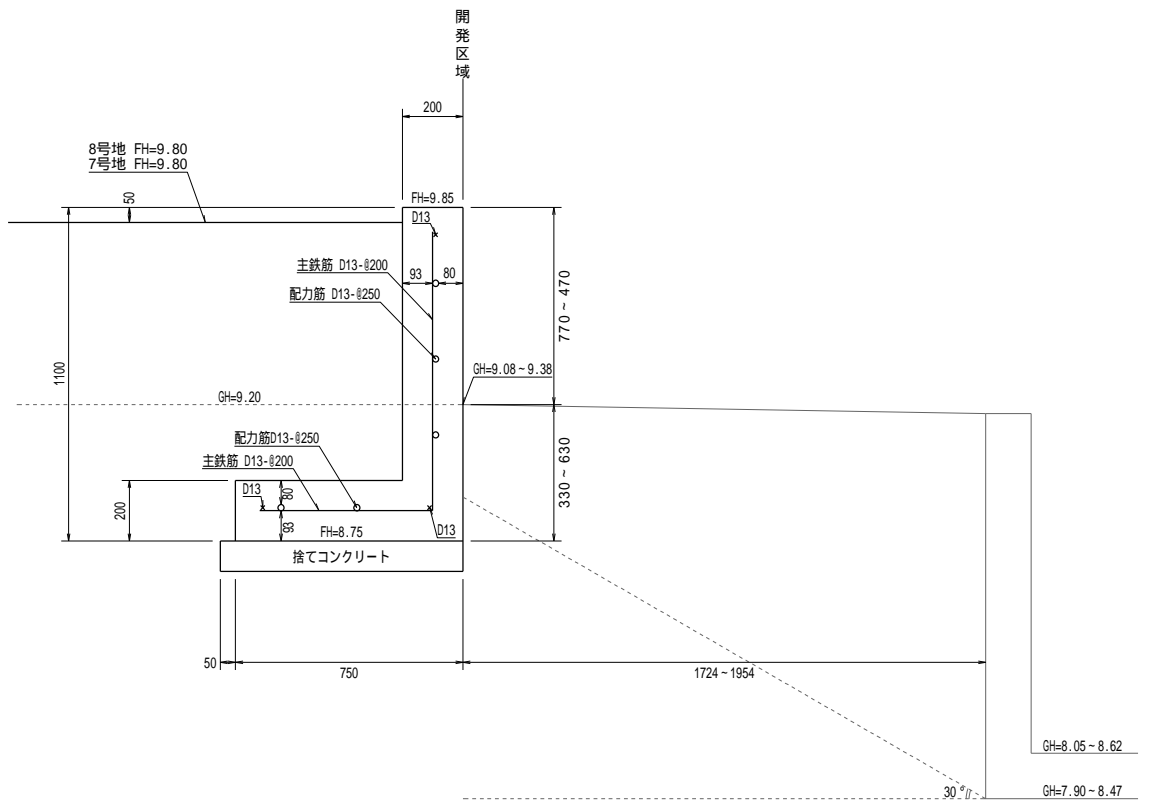
図面名	構造図(L型擁壁)
縮尺	1:25
作成年月日	令和7年6月23日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m<sup>2</sup>)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
  - 無筋コンクリート・・・18N/mm<sup>2</sup>
  - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm<sup>2</sup>
  - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

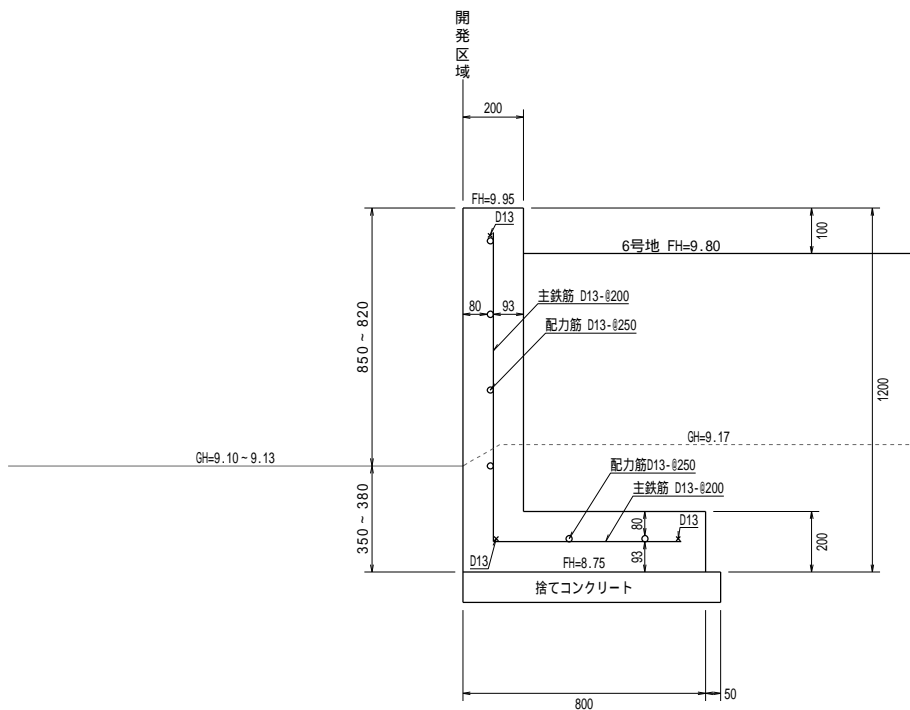
図面名	構造図(L型擁壁)
縮尺	1:25
作成年月日	令和7年6月23日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m<sup>2</sup>)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
  - 無筋コンクリート・・・18N/mm<sup>2</sup>
  - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm<sup>2</sup>
  - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(L型擁壁)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年6月23日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

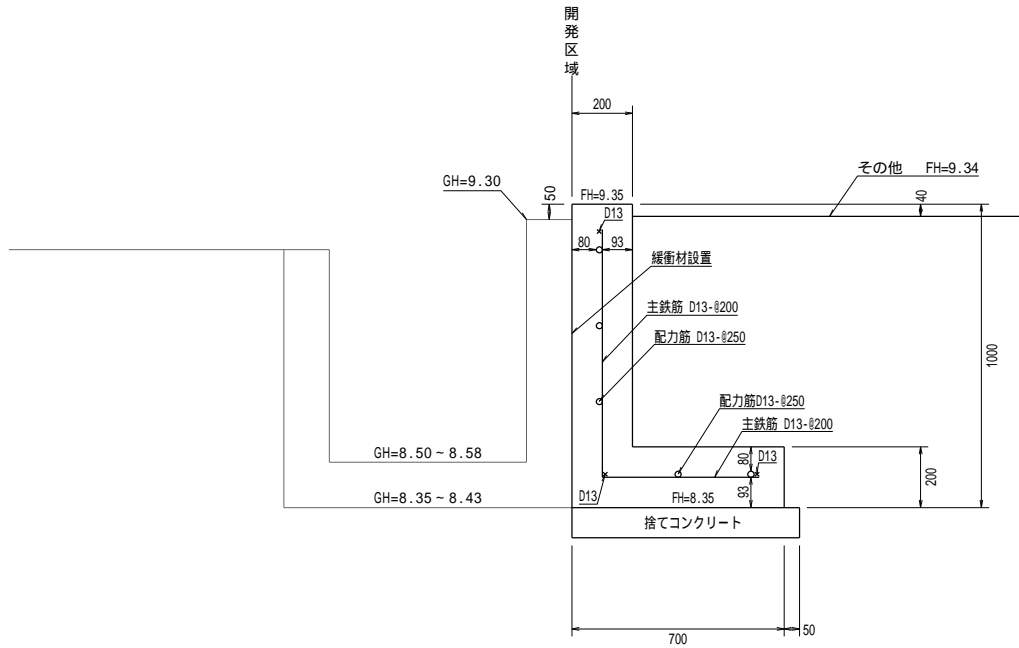


設計条件

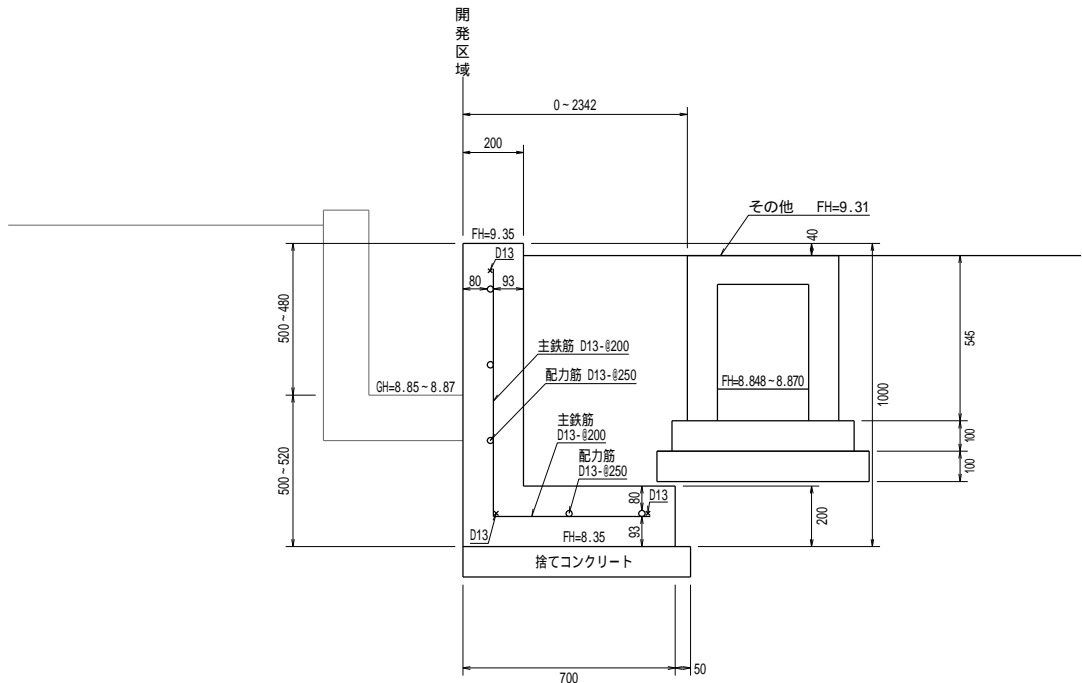
- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m<sup>2</sup>)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
  - 無筋コンクリート・・・18N/mm<sup>2</sup>
  - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm<sup>2</sup>
  - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(L型擁壁)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年6月23日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

# 北側



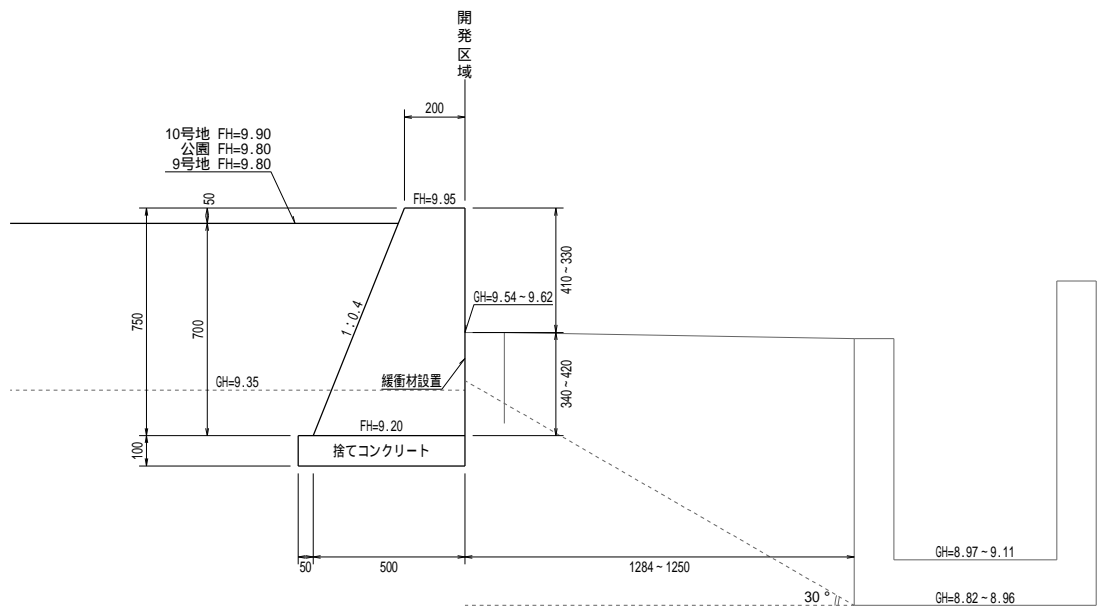
# 西側



## 設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m<sup>2</sup>)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
  - 無筋コンクリート・・・18N/mm<sup>2</sup>
  - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm<sup>2</sup>
  - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

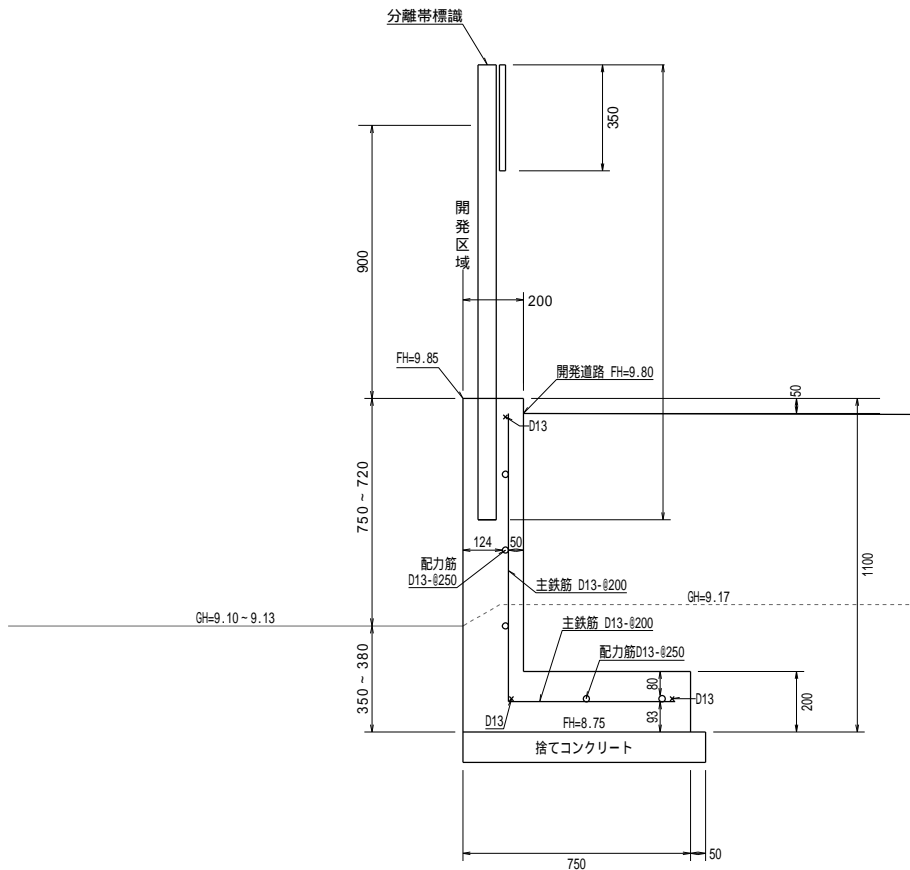
図面名	構造図(L型擁壁)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年6月23日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m<sup>2</sup>)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
  - 無筋コンクリート・・・18N/mm<sup>2</sup>
  - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm<sup>2</sup>
  - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

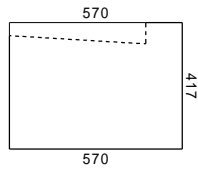
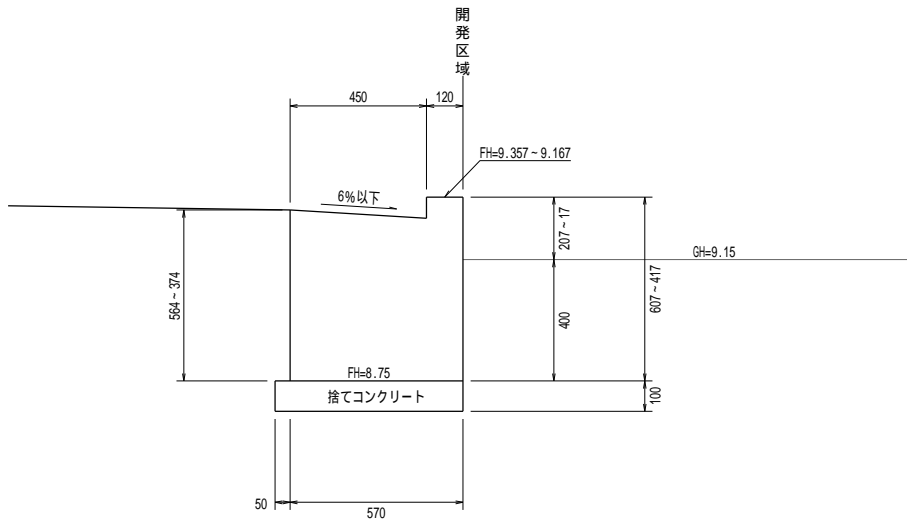
図面名	構造図(重力式擁壁)
縮尺	1:25
作成年月日	令和7年6月23日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



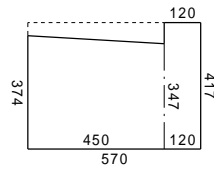
設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m<sup>2</sup>)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
  - 無筋コンクリート・・・18N/mm<sup>2</sup>
  - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm<sup>2</sup>
  - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

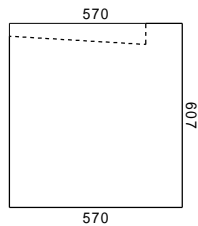
図面名	構造図(L型擁壁(道路擁壁))
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年6月23日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



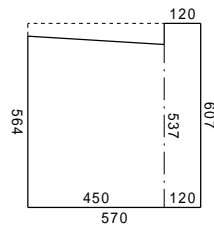
通常擁壁  
 擁壁の断面積・・・0.2376900m<sup>2</sup> (100%)  
 コンクリートの単位体積重量・・・23.00kN/m<sup>3</sup>



特殊道路擁壁  
 擁壁の断面積・・・0.2122650m<sup>2</sup> (89.30%)  
 コンクリートの単位体積重量・・・20.53kN/m<sup>3</sup>



通常擁壁  
 擁壁の断面積・・・0.3459900m<sup>2</sup> (100%)  
 コンクリートの単位体積重量・・・23.00kN/m<sup>3</sup>

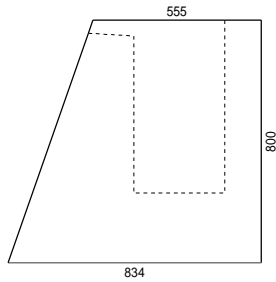
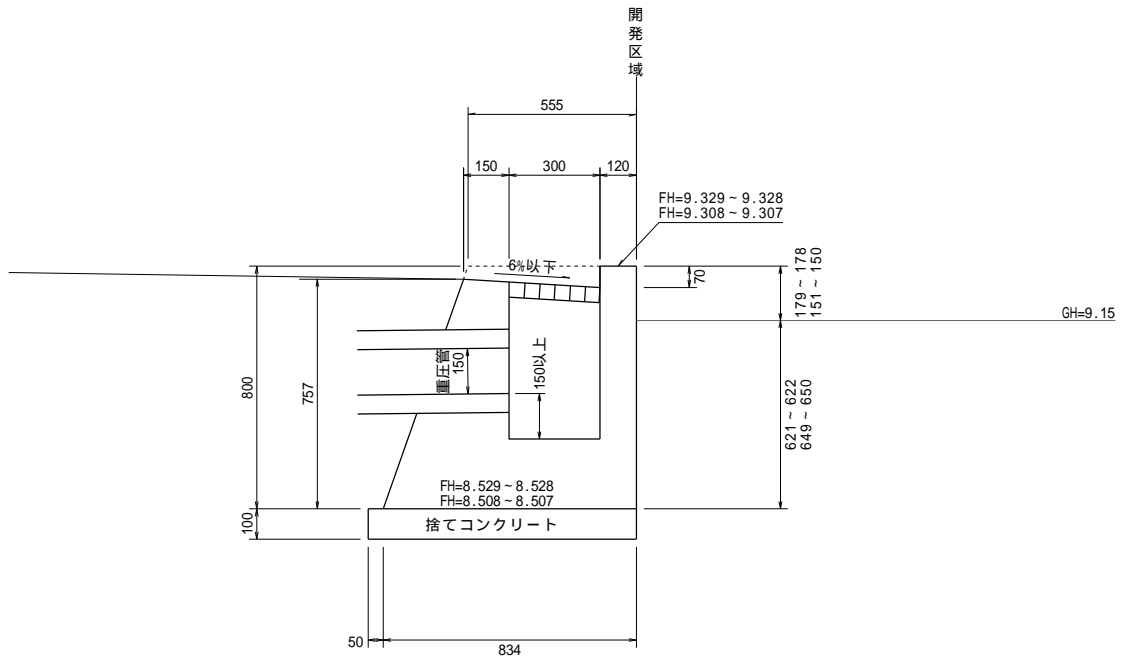


特殊道路擁壁  
 擁壁の断面積・・・0.3205650m<sup>2</sup> (92.65%)  
 コンクリートの単位体積重量・・・21.53kN/m<sup>3</sup>

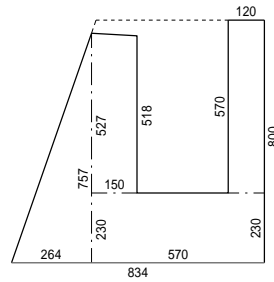
設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m<sup>2</sup>)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
  - 無筋コンクリート・・・18N/mm<sup>2</sup>
  - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm<sup>2</sup>
  - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(L型側溝(道路擁壁))
縮尺	1:25
作成年月日	令和7年6月23日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



通常擁壁  
 擁壁の断面積・・・0.5556000m<sup>2</sup> ( 100% )  
 コンクリートの単位体積重量・・・23.00kN/m<sup>3</sup>



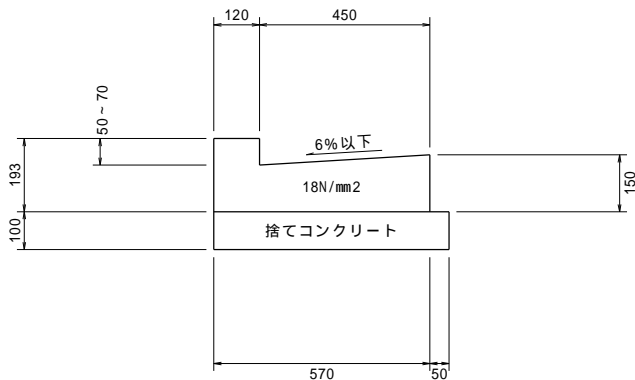
特殊街渠樹  
 擁壁の断面積・・・0.3777990m<sup>2</sup> ( 67.99% )  
 コンクリートの単位体積重量  
 23.00kN/m<sup>3</sup>(全体) × 67.99%・・・15.63kN/m<sup>3</sup>

設計条件

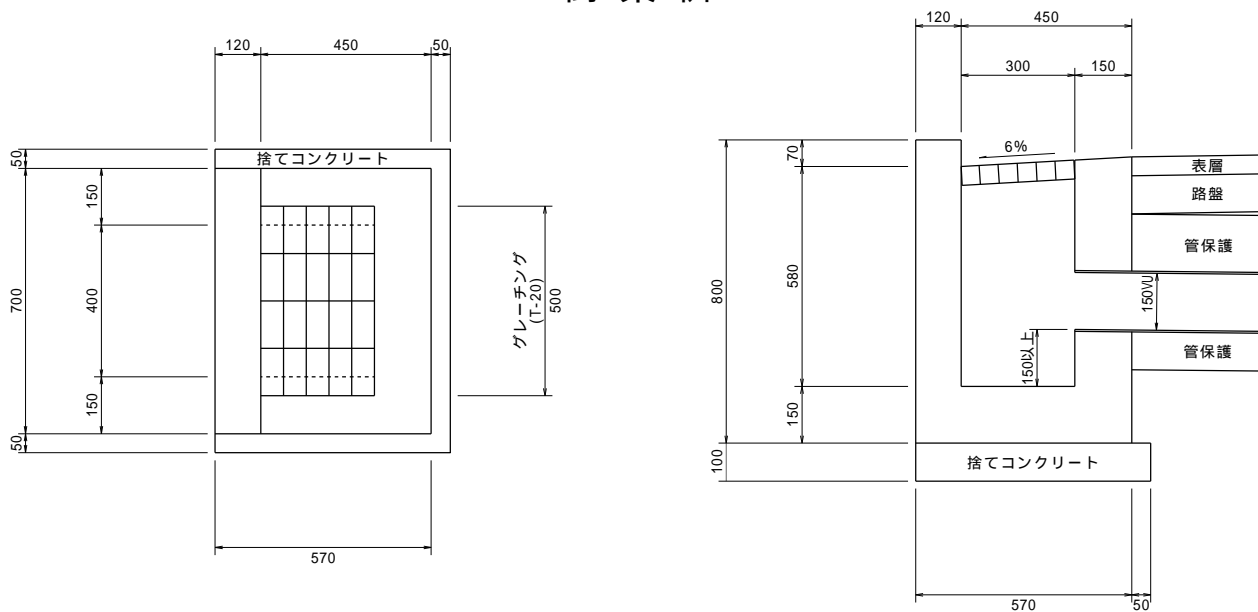
- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m<sup>2</sup>)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
  - 無筋コンクリート・・・18N/mm<sup>2</sup>
  - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm<sup>2</sup>
  - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(特殊街渠樹)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年6月23日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

## L型側溝



## 街渠柵



### 設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m<sup>2</sup>)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
  - 無筋コンクリート・・・18N/mm<sup>2</sup>
  - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm<sup>2</sup>
  - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(L型側溝・街渠柵)
縮尺	1:20
作成年月日	令和7年6月23日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智